旅行業・運輸

KNT―CTホールディングス

不要品売却で旅行消費創出

メルカリ、メルペイと連携

KNT―CTホールディングス(HD)は4日、スマートフォンでフリーマーケットの利用ができる「メリカリ」を運営するメルカリ、メルカリを使った決済サービスを提供するメルペイと、相互の市場の新規開拓・拡大、旅行消費の喚起に向けたマーケティングプログラムの共同展開を発表した。展開のテーマは「いらないものをメルカリで売って旅行へ行こう!」。メルカリで不要品を出品してもらい、その売上金で旅行に関する商品、サービスの購入を促す。

メルカリを使った新たな取り組みとして、クラブツーリズムでは顧客向けに「メルカリ教室」を月2回程度実施する。アカウント登録から出品までを体験するワークショップ形式のセミナーを行い、スマートフォン操作や出品手順などを実践しながら案内する。近畿日本ツーリストでは、10月から首都圏、関西、中部エリアの直営店舗に「メルペイ」決済サービスを導入する。店舗にあるタブレットで客の提示したQRコードを読み込み、旅行商品の決済を行う。メルペイで支払うと受けられる特典やサービスも検討している。

両者は、旅行商品や旅行関連の各種講座などと連動したさまざまなイベントやキャンペーンを実施し、メルカリ、メルペイの利用を促進する活動を予定している。

「メルカリの利用者は主に若者。一方、クラブツーリズムは主に50代以上の顧客が多い。両者の狙いたい層にも互いのサービスを訴求していく良い機会となる」と同社。

東京で「メルカリ教室」

クラブツーリズム

クラブツーリズムは8日、フリーマーケットアプリ「メルカリ」の使用方法を教える講座「メルカリ教室in秋のテーマ旅フェスタ」＝写真＝を東京・新宿の新宿アイランドウイングで開催した。メルカリ教室は2回開催し、35人が参加。アプリの使い方や写真の撮り方など、メルカリの使用方法を伝授した。

メルカリ教室は、月2回のペースで開催。旅の講座の一つとして開かれ、アプリのダウンロードをはじめ、出品の手続きや写真の撮影方法をワークショップ形式で行う。

8日に開催されたメルカリ教室では、参加者が衣服や食器、子ども用のおもちゃなど実際に使わなくなった物を持参し、出品から販売までを体験した。講義中には、ネックレスの販売が成立する人も現れ、教室内に歓声が上がった。参加者からは「売れるとワクワクする。写真を撮影する場合の背景や長さ、重さなど必要情報などヒントを学ぶことができた。売れた費用は旅行や食事に使いたい」と感想を述べた。

「キャンセル待ちが300人程度と、メルカリ教室への問い合わせは多い。頻度やエリアも検討していきたい」とKNT―CTHDマーケティング部未来創造室の井原優業務課長。また、「ツアーの中で伝統工芸を作って販売する人も出るかもしれない」と今後の可能性を語っている。

令和時代における交通インフラの人材採用

【2】中嶋 美恵

人材業界との出逢い

前回は、私の社会人人生のベースを作ってくれた伊藤園でのキャリアについてお話しいたしました。今回は、次に入社したリクルートについて話します。私がその後打ち込むこととなる「人材事業」の基盤となった会社です。リクルートでは、HR領域（「ヒューマンリソース」と呼ばれる人材領域）の営業を担当しました。取り扱い媒体はリクナビNEXT（B―ing）、とらばーゆ、はたらいく、Fromー A、タウンワークなど。アポイント獲得～プレゼンテーション～受注＆アフターフォローの仕事です。業種、職種の制限もなかったため、さまざまな業界の採用に携わりました。

人材ビジネスというのは、「情報発信し、ある企業とある人のご縁をつなぐ」という、なかなかピンときづらいビジネスかもしれませんが、はまるとたまらなく面白いのです。人の人生を動かすことにつながるため、難しい半面とてもやりがいがあります。業界、職種、募集期間、募集人数、必要な資格や経験、勤務地、勤務時間、休日休暇、給与、福利厚生、雇用形態…さまざまな条件や事情を反映し、魅力ある情報発信をしなければ、マッチした人材は集まりませんし、定着率にも影響します。繁華街と郊外、大手と中小、業務内容によってもカスタマイズが必須となります。「ただ募集すれば採用できる、という単純なものではない」。そのことをリクルートの7年間で学びました。時には失敗もしましたが、たくさんの案件を扱ってきたことで、経験値、相場観を養うことができたと実感しています。

中途入社にも関わらず、教育、研修は非常に充実していました。また、社員一人一人のモチベーションをアップさせるのもさすがにうまい会社でした。上手に乗せられて、あっという間に時間が過ぎたという印象です。当時は怖くて仕方なかった上司や、優しく厳しく支えてくれた先輩方、同僚には感謝しかありません。伊藤園時代は事務職でしたので、私はリクルートで営業を覚えたわけですが、営業というのは仕事のみならず、人生を歩く上でも非常に役に立つツールです。実は最初は営業が嫌で仕方がなかったのですが、今は、営業は自分の天職だと思っています。リクルートで過ごした7年間があったからこそ、今の自分があると感じています。

（リッツMC代表取締役社長兼女性バス運転手協会代表理事）

ばんえい競馬でクラツーカップ

クラブツーリズム

クラブツーリズムは11月25～27日、北海道帯広市のばんえい競馬を訪れる企画「食の王国『十勝・帯広』でスイーツフェスタ開催！世界でただ一つの『ばんえい競馬』クラブツーリズムカップ2日間」を催行する。2008年から社名を冠した「クラブツーリズムカップ」を観戦するツアーが販売され、毎年約600～1千人を集客。今年は10月26、27日にレースを開催する。旅程は東京・羽田空港発着。厩舎やバックヤードへの特別見学などを行う。

北海道遺産に認定されるばんえい競馬は、存続の危機に追い込まれ、かつて4カ所あった競馬場も今となっては帯広のみでの開催となっている。

ツアーでは、帯広競馬場内で人と馬が暮らす厩舎など施設を案内するほか、プロの予想屋による解説会、優勝馬や騎手との記念撮影など、ばんえい競馬を楽しむ要素をたくさん用意する。

旅行代金は、大人1人3万9900円から。ばんえい競馬のほか、開拓時代の歴史をなぞる「馬の資料館」でガイド付き案内、バターせんべいなど特産品が味わえる「クラブツーリズム絶品スイーツフェスタ」（産直市「とかちむら」で開催）で食を楽しむことができる。

昨年のクラブツーリズムカップの様子

ばんえい競馬企画は、北海道、名古屋、大阪発のコースも設定している。

「クラブツーリズムカップは、08年に販売促進イベント『秋の北海道キャンペーン』の一環として始めたイベント。旅行を通じてばんえい競馬の存続に協力していきたい」と同社。

北海道で豪華観光列車を運行

JR北海道が東急電鉄と連携

東急電鉄の豪華観光列車「ザ・ロイヤル・エクスプレス」

JR北海道はこのほど、来年8月に東急電鉄と連携して豪華観光列車「ザ・ロイヤル・エクスプレス」を北海道内で運行する計画を発表した。

札幌発着で十勝、知床、富良野エリアを一部バスも使って3泊4日（金曜～月曜）で周遊するプランで、同月中に4回程度運行する。

1日目は、札幌駅から千歳線や石勝線を通って道東の池田駅まで、2日目は釧路駅から釧網線を北上して知床斜里駅へ、3日目は知床斜里駅から石北線などを経て旭川駅に、最終日は旭川駅から札幌駅まで運行。各到着駅では、用意されたバスで観光地や宿泊地に移動する。

同列車は、東急電鉄が伊豆方面で走らせている豪華列車。北海道では、定員を30人程度とし、客車や食堂車、キッチンカーなどの本体車両5両に電源車と機関車2両を連結した8両編成で運行する。

機関車や一部の停車駅には、同列車やJR九州の「ななつ星」のデザインを手掛けた水戸岡鋭治氏が装飾を施し、旅の雰囲気を演出する。発売は来年2月の予定で、旅行代金などの詳細は年末以降に発表する。

JR北海道と東急電鉄では、昨年9月の胆振東部地震で大きな影響を受けた北海道の観光と地域活性化の応援にと、JR東日本、JR貨物を加えた4社で観光列車の走行プロジェクトを設けて検討してきた。

北海道では、2017年からJR東日本の「四季島」が道南地域まで乗り入れているが、道内各地を広域で巡る観光列車は初となる。

JR北海道では、「北海道の大自然や人々との触れ合いなど、北の大地で豊かな時間を過ごしてもらう記憶に残る旅を提供したい」と話しており、地元との歓迎事業にも力を入れる。

鳥海高太朗の交通トレンド分析 ―20―

台風で飛行機は着陸できたが陸の孤島になった成田空港

台風15号は特に千葉県内に大きな被害が出た。特に停電や倒木などの影響で都心と成田空港を結ぶ交通アクセスが麻痺し、JR、京成（京成本線、成田スカイアクセス線）が不通となり、さらに東関東自動車道も通行止めになった。成田空港自体は、飛行機の離着陸が可能だったことで、9日の朝に成田空港に到着した到着客の多くが空港内に足止めとなった。

日本人も大変だったが、それ以上に外国人観光客の多くはなかなか情報を把握することができず、夜になってから成田スカイアクセス線が復旧したものの、9日中に成田空港から脱出できなかった外国人も多く、空港で一晩過ごした人も続出した。

今回、鉄道の運休と高速道路の通行止めで完全に都心への交通アクセスが遮断され、都心から70キロ近く離れていることから、一般道の利用では5時間以上の時間を要してしまっていた。それ以前に成田空港ではタクシーを確保することすら難しかったようだ。

しかしながら、夜になって圏央道の通行止めが解除されたことにより、成田空港から圏央道を利用し、つくばジャンクション経由の常磐道というルートができたことで一部の高速バスの運行ができた点はリスク管理の部分では評価できた点と言っていいだろう。

鉄道の部分でいえば、成田駅まで出られれば京成電鉄が動いていたことがあると共に、ホテルの数も多いことから成田駅までのバスを多く運行してほしかったという声が多かった。まずは空港から脱出することを最優先に成田空港と成田駅間だけでもピストン輸送できるようにしておくことも必要だろうと思う。

天気が回復しているのに全く空港内から脱出できない状態になり、まさしく陸の孤島になってしまったということだ。10月末からは成田空港の運用時間が現在の23時から24時まで延長されることに伴い、ようやく鉄道、バス共に深夜時間帯の交通アクセスが整備される。

しかしながら、2011年の東日本大震災の際の教訓が今回の台風に生かされた点は限定的であり、1万人以上の人が空港に寝泊まりする状況を作ってしまったことは反省すべき点でもある。まさしく都心から離れている空港である成田空港におけるリスク事項であり、もしこれが来年の東京オリンピック・パラリンピック中に起きてしまったらと考えると怖い。

今回、飛行機が飛んでいたことで成田空港から中部空港や伊丹空港へ飛行機で飛び、新幹線で東京に戻る人や、常磐線の我孫子駅や取手駅からタクシーで成田空港へ向かった賢い人もいた。災害時のアクセス方法を再検証する必要性を改めて考える機会になってほしい。

（航空・旅行アナリスト、帝京大学非常勤講師）

主要旅行業月別実績

観光庁

総取扱額、1%減に

国内旅行は2%減

7月

鉄道旅客協会が8月27日に発表した主要旅行業11社の7月の旅行取扱額は、前年比1・2%減の2829億9332万円だった。内訳は、国内旅行が2・2%減の1668億1409万円、海外旅行が1・5%減の1002億9043万円、外国人旅行が16・2%増の142億6554万円、その他が1・7%増の16億2326万円。

総取扱額が前年を上回ったのは、日本旅行、東武トップツアーズ、名鉄観光サービス、阪急交通社の4社。分野別で見ると、国内旅行は日本旅行、KNT―CTホールディングス、名鉄観光サービス、西鉄旅行、阪急交通社の4社が前年比増だった。海外旅行は3社、外国人旅行は7社が前年を超えた。

4月からの累計を見ると、総取扱額は前年同期比2・9%増の1兆1655億7713万円だった。前年実績を上回ったのは、JTB、日本旅行、KNT―CTホールディングス、名鉄観光サービス、阪急交通社の5社。

内訳は、国内旅行が1・7%増の6963億3692万円、海外旅行が3・1%増の3915億8354万円、外国人旅行が14・6%増の716億9466万円、その他が0・1%減の60億9211万円。分野別では国内旅行が5社、海外旅行が5社、外国人旅行が9社で前年比増となった。

7月の販売概況

（単位：千円、%）

会社名	国内旅行	海外旅行	外国人旅行	その他	総取扱額	4月からの累計
JTB	81,784,430 96.1	50,509,988 96.5	7,584,885 118.2	0 0.0	139,879,303 97.3	561,395,365 102.8
日本旅行	21,975,456 104.0	10,337,720 98.4	3,287,056 105.6	4,210 85.0	35,604,442 102.5	153,006,168 107.5
KNT－CTホールディングス	22,369,902 97.9	13,373,310 96.1	2,159,545 128.1	899,531 107.5	38,802,288 98.8	168,998,542 104.3
東武トップツアーズ	7,452,205 97.5	2,717,300 120.2	446,869 92.6	135,809 99.5	10,752,183 102.2	45,782,945 97.5
名鉄観光サービス	5,068,504 101.2	1,558,710 103.0	188,406 134.9	495,881 96.7	7,311,501 101.9	29,838,647 102.9
京王観光(4/19付退会)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1,242,211 88.2
農協観光	6,105,846 94.6	533,139 79.3	79,519 155.3	77,931 93.7	6,796,435 93.6	18,052,503 93.6
読売旅行	2,504,856 89.1	569,571 90.0	6,560 79.5	4,363 112.7	3,085,350 89.2	14,678,311 90.7
西鉄旅行	1,763,957 100.4	1,172,440 83.2	31,525 96.9	0 0.0	2,967,922 92.8	10,683,923 85.7
日通旅行	555,000 93.5	2,530,146 90.8	53,810 55.0	5,532 30.3	3,144,488 90.0	12,237,186 90.1
阪急交通社	9,490,459 103.1	16,853,881 107.7	215,173 198.1	0 0.0	26,559,513 106.4	120,541,410 106.4
ジェイアール東海ツアーズ	7,743,479 95.2	134,224 77.3	212,196 149.3	0 0.0	8,089,899 95.7	29,049,921 94.7
合　　計	166,814,094 97.8	100,290,429 98.5	14,265,544 116.2	1,623,257 101.7	282,993,324 98.8	1,165,507,132 102.9

※　№1のJTBはグループ11社内取引を相殺した合計の実績（JTB／JTBグローバルマーケティング＆トラベル／JTB沖縄／JTBメディアリテーリング／JTBビジネストラベルソリューションズ／JTBグランドツアー＆サービス／JTB京阪トラベル／JTBガイアレック／朝日旅行／エイ・ビー・アイ／トラベルプラザインターナショナル）

※　№3のKNT－CTホールディングスの前年数値はグループ全体（KNT／KNT個人旅行／クラブツーリズム／ユナイテッドツアーズ／各地域会社）の合算実績

創立20周年で式典

サンスターライン

大阪と韓国・釜山を結ぶ定期客船パンスタードリーム号を扱うサンスターライン（大阪市中央区、野瀬和宏社長）は8月8日、ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区）で創立20周年の記念式典を開いた。

パンスターグループの金泫謙会長は「サンスターラインは1999年、東京・銀座と大阪・本町の2カ所で5名の職員からスタートした。現在は、フェリーサービスと韓国、日本、中国をつなぐ高速貨物フェリーの定期サービスを提供する総合物流会社に成長した」と設立当時から現在までを述懐。「これからも夢と熱情を抱いて一歩ずつ前へ進んでいく」と述べた。

野瀬社長は「大阪では2025年に万博が開催予定であり、夢洲での統合型リゾート整備の話も聞く。これらビッグプロジェクトを契機とし、次の5年間も愚直に事業展開していく」と述べた。

在大阪韓国総領事館の呉泰奎総領事、大阪市港湾局の田中利光局長ら多くの来賓が出席、祝辞を述べた。

20周年式典の様子。記念品の贈呈も行われた

湯・味・心に歴史を添えて

本土最南端　砂むし温泉
指宿白水館
〒891-0404 鹿児島県指宿市知林の里
TEL:0993-22-3131 予約専用:0993-23-3898 HP:http://www.hakusuikan.co.jp/